# Grow One 財務会計

# 教員用

GrowOne 財務会計 WEB システム操作研修会資料 その他(登録機能、照会機能)

> 2020年3月27日 第1版

このシステムにログインするためには、学内ネットワーク接続申請を行い、 発行された IP アドレスが設定されているネットワーク環境の PC が必要です

## 目次

# 1. 登録機能

- ▶ 申請を途中で保存したい場合・・・・・P3
- ▶ 過去の申請と似た申請をする場合・・・・・P5
- ▶ 申請内容を変更·修正する場合·····P7

## 2. 照会機能

- ▶ 申請内容の確認·····PII
- ▶ 申請状況の確認・・・・・P14
- ▶ 予算執行状況の確認·····PI7
- ▶ 資産情報の確認・・・・・P21

## 3. その他····P23

- 次の画面に進めない(白い枠内が赤くなる)
- ▶ 文字を入力できない項目がある
- ▶ 該当コードを入力しても見つからない
- ▶ 画面の端にある矢印はなに?(ブラウザの戻るを押したらデータが消えた)

## 1. 登録機能

## 申請を途中で保存したい場合

申請を入力中に中断せざるを得なくなった場合、途中まで入力していたデータを無駄にすることなく、その段階で保存(仮登録)して、後ほど中断した箇所から再開する、ということができます。

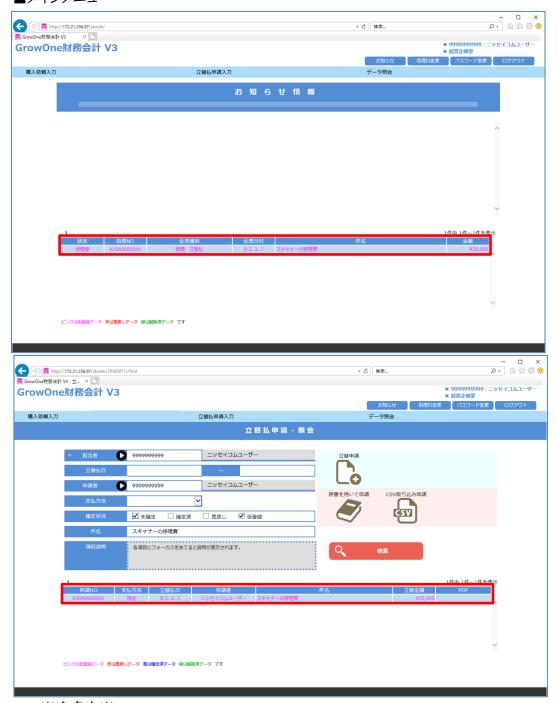
## ■仮登録機能

(1) 仮登録機能では、入力途中の申請を、一旦仮登録として保存しておくことが可能です。仮 登録を行う場合、申請入力画面右上の「仮登録」ボタンをクリックします。仮登録の場合 は、必須項目も未入力の状態で登録可能です。



(2) 仮登録を行ったデータはメインメニューの明細部および申請一覧に表示されます。続きの 入力を行う際は、該当データをクリックし、入力を行います。

### ■メインメニュー



### ※注意点※

仮登録データは、I 担当者につき、各申請 I データのみ登録可能です。例えば、購入依頼 入力にて 2 件目の仮登録データを登録する場合は、まずは登録済の購入依頼仮登録デ ータを処理する必要があります。

## 過去の申請と似た申請をする場合

各種の申請はいつでも財務会計システムの画面上から確認することができます。

そのデータを使用して、以前行った申請と内容が類似した申請をしたい場合、前回に申請 した際の情報を利用(複写)して、簡単に新たな申請を作成することができます。

※その際、元の申請の内容が変更されることはありません。

あくまでも複写なのでコピーを取って必要な箇所だけ上書き(変更)するというイメージです。

## ■複写申請機能

(1) 複写申請機能では、登録済のデータ内容を複写し新規申請として登録を行うことが可能 です。複写申請を行う場合、複写元とする登録済伝票を呼び出し、申請入力画面右上の 「複写申請」ボタンをクリックします。



(2)「複写申請」をクリックすると、複写元の申請内容が入力された状態で、申請入力画面に 遷移します。通常申請時と同様の手順で適宜修正を行い、新規申請として登録を行います。

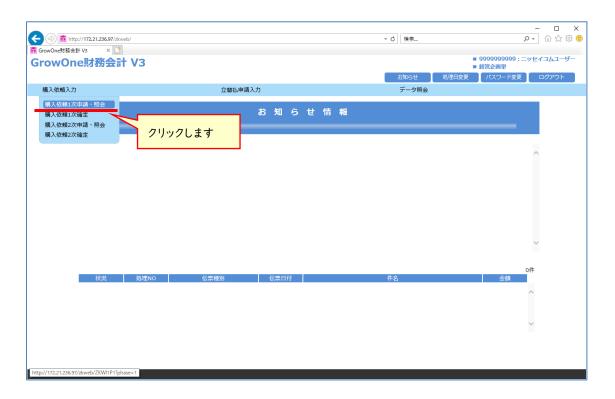


# 申請内容を変更・修正する場合

「修正」は申請内容の誤りに気付いたなどの理由で、申請の内容を変更する場合に使用する機能です。

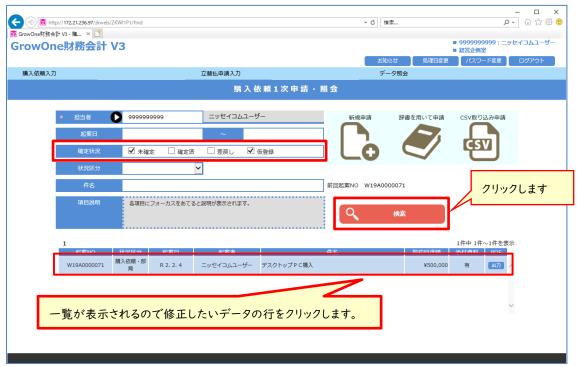
## ■変更·修正

(1) トップ画面から対象の申請・照会画面をクリックします。



(2)「確定状況」を選択します。

特定のボックスのみにチェックを入れることで、過去に登録した申請のうち、その状況に応じたものだけを照会することができます。

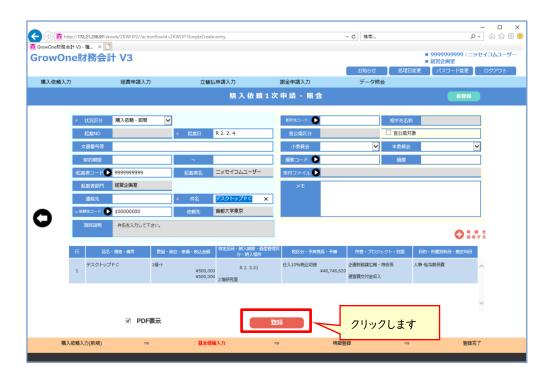


- ① 「確定状況」を選択します 特定のボックスのみにチェックを入れることで、過去に登録した申請のうち、その状況に応 じたものだけを照会することができます
- ②「検索」をクリックします
- ③ 修正したいデータの行をクリックします

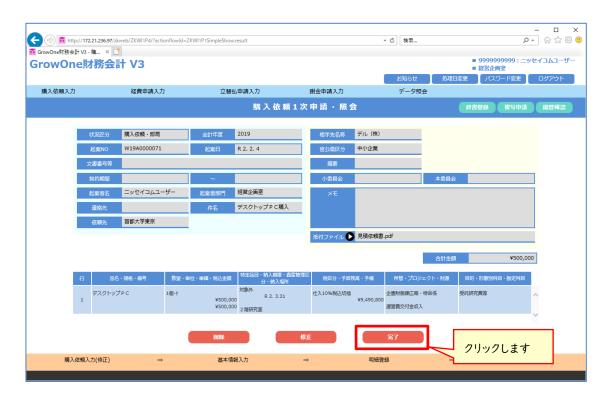
(3) 当該申請の修正を行います。 当該申請の内容が表示されます。 「修正」をクリックして作業を開始します。



(4) 修正が完了したら登録をクリックします



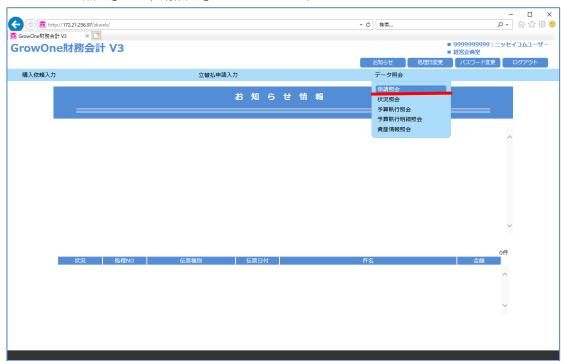
(5)「完了」をクリックして操作を終了します。



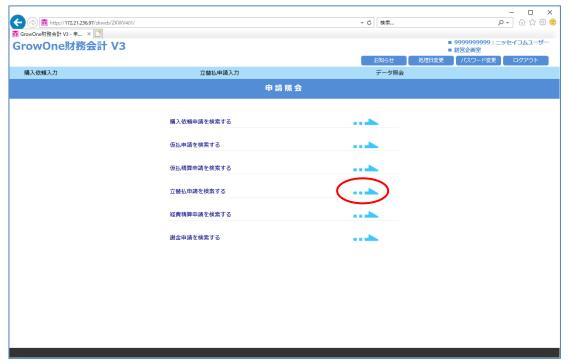
# 2. 照会機能

## ■申請内容の確認

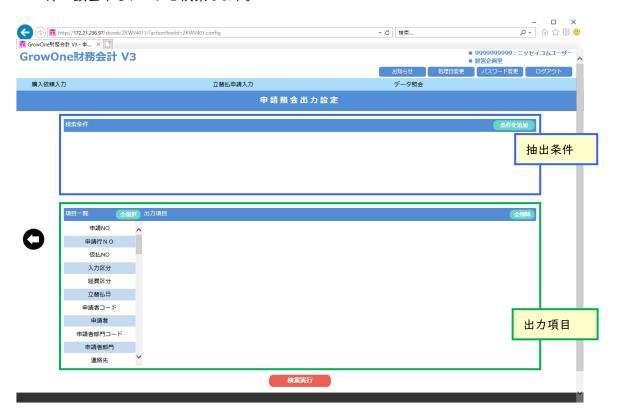
(1) 申請内容は、申請照会にて照会可能です。 「データ照会」→「申請照会」をクリックします。



(2) 申請対象データの検索画面に遷移します。本画面で、照会する申請種類を選択します。ここでは、立替払申請を照会するので、右側の矢印をクリックします。

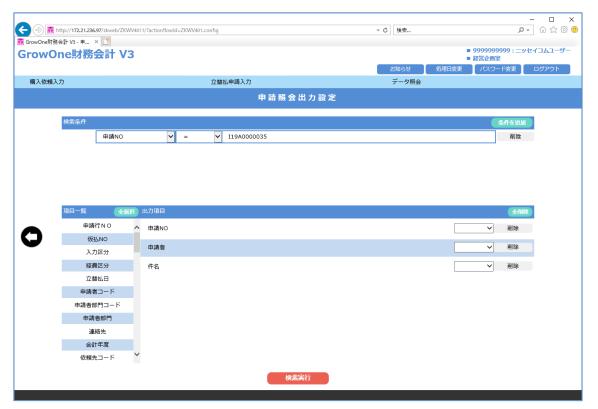


(3) 申請照会出力設定画面に遷移します。本画面では、照会する申請データの抽出条件と照会したい項目を指定することが可能です。「検索実行」ボタンをクリックすると、指定した条件に該当するデータを検索します。



抽出条件・・・「条件を追加」ボタンをクリックすると抽出条件を設定する行が追加されるので、 追加された行に抽出条件を設定します。

出力項目・・・項目一覧より照会したい項目をクリックし、出力項目に設定します。



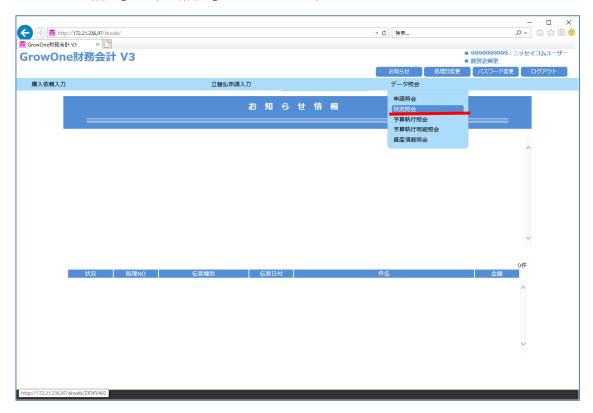
12 / 24

(4) 照会結果は、下画面のように抽出条件に一致した申請内容が一覧で確認できるような形で表示されます。また、検索結果は Excel や CSV データとしてダウンロード出来ます。 明細行をクリックすることで、未確定の伝票は申請内容の修正が可能です。また確定済みの伝票は申請内容の参照が可能です。

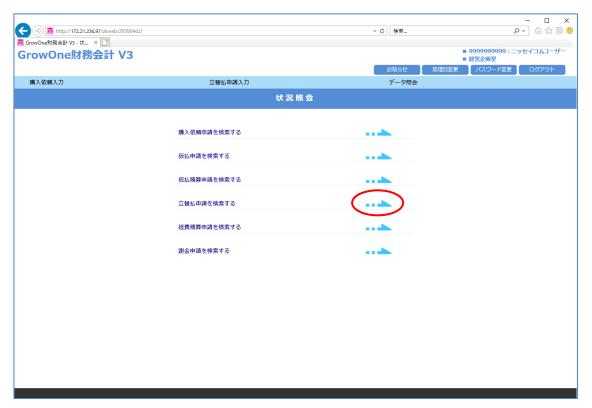


## ■申請状況の確認

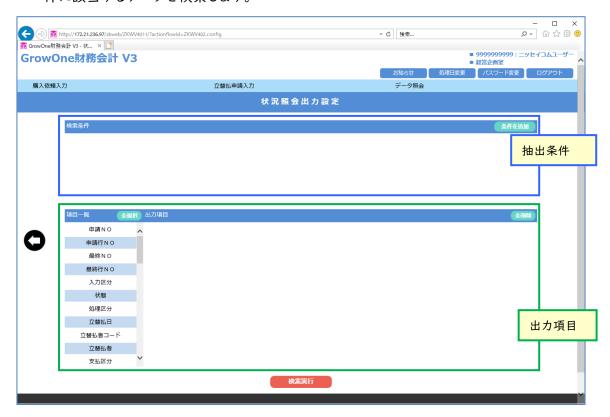
(1) 申請状況は、状況照会にて照会可能です。 「データ照会」→「状況照会」をクリックします。



(2) 申請対象データの検索画面に遷移します。本画面で、照会する申請種類を選択します。ここでは、立替払申請を照会するので、右側の矢印をクリックします。

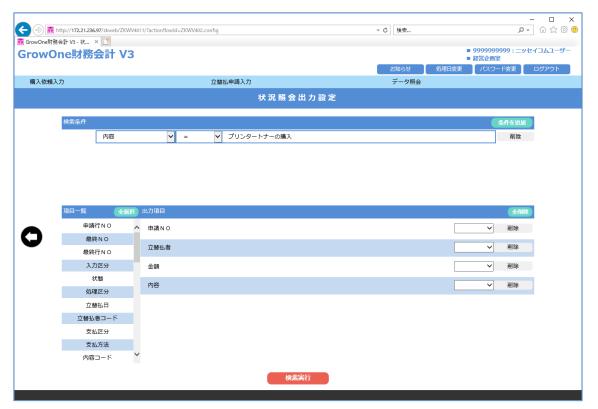


(3) 状況照会出力設定画面に遷移します。本画面では、照会する申請データの抽出条件と照会したい項目を指定することが可能です。「検索実行」ボタンをクリックすると、指定した条件に該当するデータを検索します。



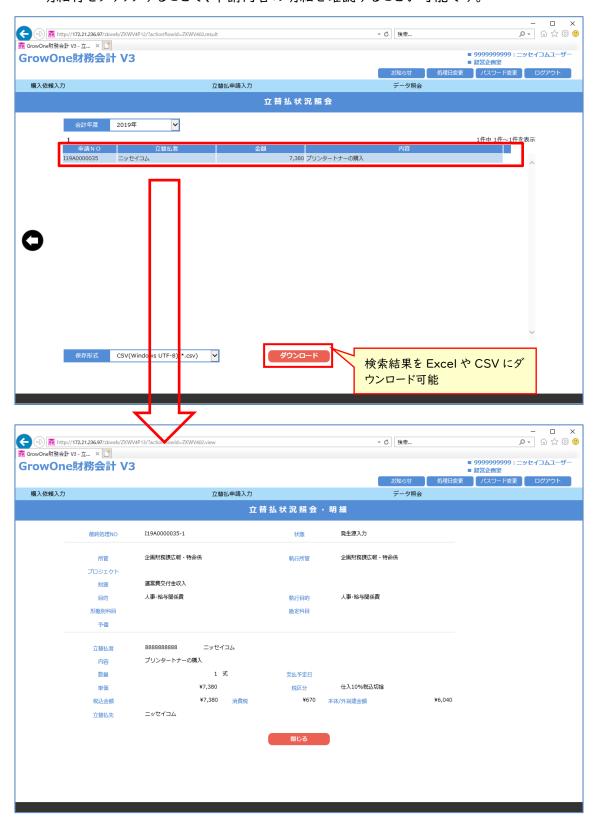
抽出条件・・・「条件を追加」ボタンをクリックすると抽出条件を設定する行が追加されるので、 追加された行に抽出条件を設定します。

出力項目・・・項目一覧より照会したい項目をクリックし、出力項目に設定します。



15 / 24

(4) 照会結果は、下画面のように抽出条件に一致した申請内容が一覧で確認できるような形で表示されます。また、検索結果は Excel や CSV データとしてダウンロード出来ます。 明細行をクリックすることで、申請内容の明細を確認することが可能です。

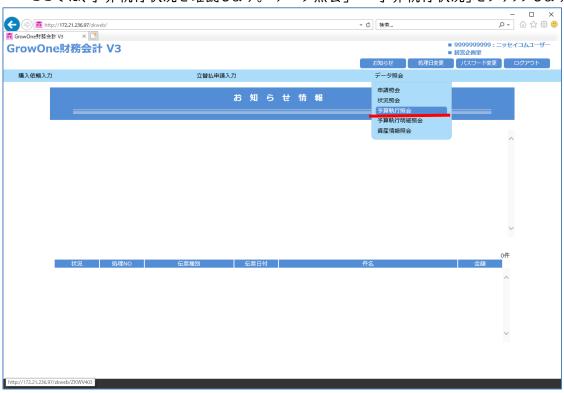


## 予算の執行状況を確認する時

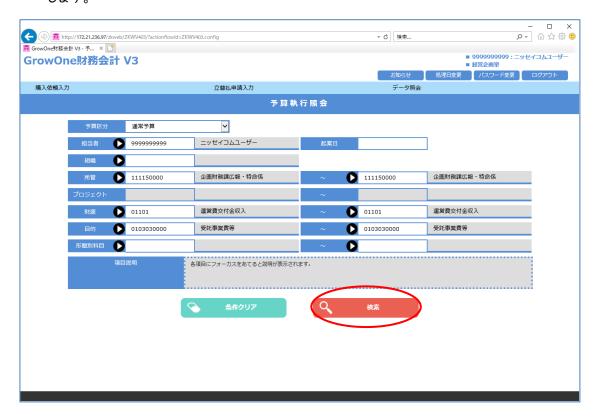
財務会計システムでは、各種の申請を行うだけでなく、申請を行った結果、「予算がどのように執行されたか」という状況を確認することができます。

### ■予算執行状況の確認

(1) ログイン者に閲覧権限がある予算の執行状況が確認できます。 予算執行状況は、予算執行照会および予算執行明細照会にて照会可能です。 ここでは、予算執行状況を確認します。「データ照会」→「予算執行状況」をクリックします。



(2) 照会対象データの検索画面に遷移します。本画面で、照会する予算の抽出条件を指定することが可能です。「検索」ボタンをクリックすると、指定した条件に該当するデータを検索します。



(3) 照会結果は、下画面のように、抽出条件に一致した予算を一覧で確認できるような形で表示されます。通常予算・プロジェクト予算がタブ切り替えで表示されます。 また、検索結果は Excel や CSV データとしてダウンロード出来ます。



(4) 残高表示欄の「▼」ボタンをクリックすると、それぞれのベースでの該当予算での執行内 訳を確認することが可能です。



### ■予算執行ベースについて

依頼ベース(紫):Web 発生源入力時点で執行される予算ベース

契約ベース(黄緑):契約段階(支出契約決議)まで処理が進んだ時点で執行される

予算ベース

決定ベース(赤):債務段階(検収、経費精算)まで処理が進んだ時点で執行される

予算ベース

(5) 費目管理を行うプロジェクト予算については、「プロジェクト」欄の赤色の「▼」ボタンをクリックすることで、費目ごとの予算残高を確認することが可能です。

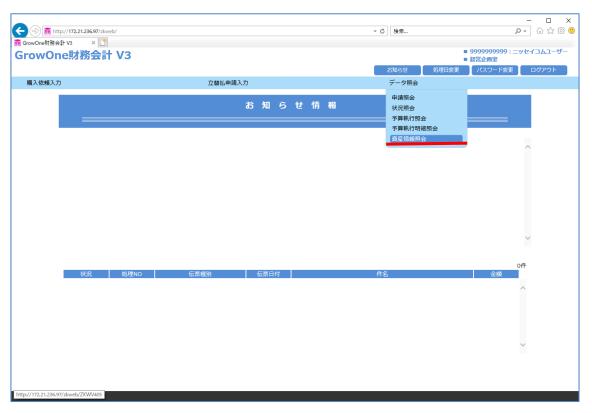


## 資産の状況を確認する場合

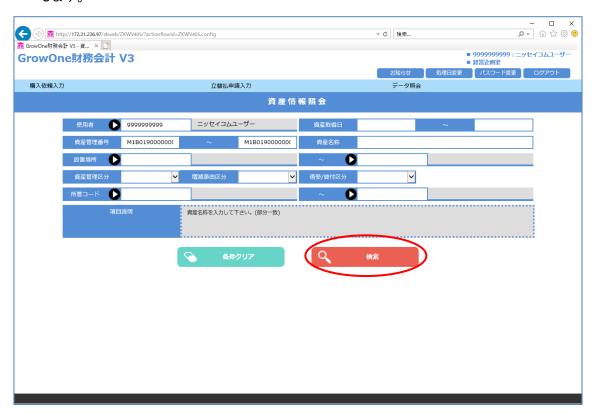
財務会計システムには、資産登録の機能があり、システム内で資産管理を行っています。 資産管理番号などで資産の状況を確認できます。

## ■資産情報の確認

(1) 資産情報は、資産情報照会にて照会可能です。 「データ照会」→「資産情報照会」をクリックします。



(2) 照会対象データの検索画面に遷移します。本画面で、照会する資産の抽出条件を指定することが可能です。「検索」ボタンをクリックすると、指定した条件に該当するデータを検索します。



(3) 照会結果は、下画面のように、抽出条件に一致した資産情報を一覧で確認できるような 形で表示されます。また、検索結果は Excel や CSV データとしてダウンロード出来ます。



## 3. その他

意味を知っていると円滑に処理できるようになる便利機能や知っていれば役立つ入力上の 注意項目をご紹介します。

- ②次の画面に進めない(白い枠内が赤くなる)
- ②文字を入力できない項目がある( のボタン)
- ②該当コードを入力しても見つからない
- ②画面の端にある矢印はなに?(ブラウザの戻るを押したらデータが消えた)

### ◆次の画面に進めない

必須項目の入力がされていなかったり、入力内容が明らかにおかしい状態(日付が前後するなど)で次の画面へ進もうとした際に枠内が赤くなり、そこを入力するまで先へ進めなくなります。(赤字でエラー事項が表示されるので、内容を修正してください。)

- ◆文字を入力できない項目がある(▷のボタン)
  - ♪ がついている項目は、直接文字を入力することができません。
- をクリックすると画面が立ち上がり、システムのデータベースの中から情報を検索して入力 を行います。
  - ▼マークがある項目を入力する場合は、以下の手順となります。
    - ① をクリック
    - ②検索したい名称を入力
    - ③「検索」をクリック
    - ④表示されたデータをクリック
- ◆該当コードを入力しても見つからない

【コード検索の注意点】

- ①検索の際は、見積依頼書などに記載の「会社の正式名称」で行ってください。 (×生協→○東京都立大学生活協同組合)
- ②全角/半角、小文字/大文字すべて別認識です。
- ③スペースを入れて複数条件で検索することもできます。

(生協を探す場合は、「東京 生活 組合」など)

上記で見つからない場合は、ひらがな、カタカナ、漢字、英語等であいまい検索を行ってください。

例:「MonotaRO」を検索したい時、「ものたろう」「モノタロウ」「MONOTARO」ではヒットしません。このような場合は、頭文字「M」だけで検索すると見つかります。)

◆画面の端にある矢印はなに?(ブラウザの戻るを押したらデータが消えた) 財務会計システムで作業中にページを進む・戻る際に使用するボタンです。 「戻る」場合はページ左側の←、「進む」の場合はページ右側の→をクリックします。 ブラウザの「戻る」ボタンを使用するとエラーが発生して入力した情報がクリアされてしまします。ご注意ください。